

専門課程シラバス

授業科目	基礎看護学実習			担当者	有田真樹子		
開講時期	2年前期	授業の方法	実習	単位数	2	時間数	90
授業概要	<p>基礎看護学実習では、実践をととして看護学の基本である「人間」「健康」「看護の対象」「看護の目的」「看護の役割・機能」について学ぶ。看護を実践するための共通基本技術および共通基礎看護技術の修得、また、対象の健康の状態を統合的に理解し、援助の必要性を判断して個別的な看護計画を立案し、実践する看護能力を養う。</p>						
授業計画	<p>実習前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーション(全9回)を受け、実習目的・目標を確認し、共通基本技術、日常生活援助技術、看護過程プロセス、実習病棟の診療科の看護を含めた事前学習を整える。 ・基礎看護援助技術の学内実習を受ける。 <p>オリエンテーション 学内実習 実習1週目</p> <p>関係形成・情報収集・整理・分析の週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初日に実習施設のオリエンテーションを受ける。 ・実習2日目に看護師シャドーイング・病棟オリエンテーションを受け、受け持ち患者を決定し情報収集を始める。 ・受け持ち患者の情報収集・整理・分析を行う。 <p>実習2週目</p> <p>情報分析・統合・看護問題の抽出の週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち患者のアセスメントを行い問題点を抽出する。 ・看護計画を立案し、看護計画に沿って実施・評価を行う。 ・中間評価を行い、実習目標に到達する方法を教員と見直す。 <p>臨地実習 実習3週目</p> <p>実施をしながら評価および対象理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のコミュニケーションの振り返りの週 ・受け持ち患者の看護過程の展開を継続する。 ・プロセスレコードより、自己のコミュニケーションの傾向を振り返り、学生一患者関係を考える。 						
テキスト 参考文献	<p>基礎看護学講座1 看護学概論 第17版 医学書院, 2020 系統看護学講座2 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ, 医学書院, 2020 系統看護学講座2 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院, 2020 山内豊明 フィジカルアセスメントガイドブック, 第2版, 医学書院, 2019</p>						
成績評価 の方法	<p>実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員(臨地実習指導者所見含む)で評価を行い、60点以上を合格とする。</p>						